

# トピックス

木村文昭君\*「スポーツ殊勲賞」受賞  
09年5月30日、SO 冬季世界大会・アイダホでの木村君の活躍に対し、上山市体育協会から表彰を受けました。



殊勲賞を手にする木村君

09年第1回 SO 東海・北信越ブロックフローア－ホッケー競技会に参加  
山形より、鶴岡支部所属の「山形アイスモンスタース」が参加し、堂々の銀メダルを獲得しました。2009年4月25・26日  
長野市真島総合アリーナ



大会参加のアイスモンスタースメンバー

## 第1回山形フローア－ホッケー連盟

### 春季競技会が開催されました

2009年5月30日に山形市総合スポーツセンター体育館にて開催されました。大会には5チーム、120名が参加しました。参加者は老若男女・子供さんなど、幅広く、和気あいあいとした雰囲気の中、熱戦が繰り広げられました。



熱戦の繰り広げられた春季競技会

## 第8回山形県障がい者スポーツ大会開催

2009年5月31日に県総合運動公園にて開催されました。

SO山形関係では陸上競技に10名、水泳競技に10名合計20名のSOアスリートが参加し、日ごろの鍛錬の成果を競いました。

ファミリーも多数応援に駆けつけ、アスリートに熱い声援を送りました。全員が4位以内の入賞を果たし、日ごろの練習の成果を発揮しました。



水泳競技のひとつま



陸上競技で走るアスリート

## 寄付金をいただいた団体・個人

さくら調剤薬局一同様 加藤愛子氏 井上 博氏



## ニュースレター No.16

# Rainbow山形

発行日 2009年6月24日  
発行責任者  
NPOスペシャルオリンピックス日本・山形  
〒990-0044  
山形市木の実町12番37号

## NPO・SON 山形 2009 年度通常総会開催

2009年3月24日特定非営利活動法人(NPO)スペシャルオリンピックス日本・山形の通常総会が開催され、正会員30名中26名(表決委任8名含む)の出席のもと総会の成立が確認され、また賛助会員・アスリート・ファミリー・コーチ60名(総数86名)の参加により、①2008年度事業報告 ②決算報告・会計監査報告が提案、また③2009年度活動計画案④収支予算案が提案され、それぞれ満場一致承認された。

続いて、役員の変更及び就任について提案され承認された。

退任理事	高田 修	山形ゼロックス	新任理事	武田みつ	SOファミリー
	新藤一晴	スポーツ山形21協会		藤橋繁夫	県労働者福祉協議会
	相田 恵	SOファミリー		根津良伸	希望が丘コロニー
退任監事	芳賀 誠	SO鶴岡支部	新任監事	松田幸子	SOファミリー

続いて総会議事を一時中断し、第1回理事会が開催され理事長・副理事長・専務理事を互選し、理事長に荒井進理事、副理事長に井上博理事、専務理事に真木滋夫理事を選任、また専務理事は事務局長兼任とし、武田みつ理事を会計担当とすることを承認し終了、直ちに総会を再開し理事会審議内容を報告し満場一致承認され、2009年度通常総会は終了した。

## SON 山形各専門委員会活動報告

委員会	開催期日	協議内容
スポーツプログラム委員会	4月8日	山形・鶴岡・米沢・置賜の年間計画について各プログラムごとの予定各用具、機材の希望集約結果報告・トレーニング種目の拡大について
医療・安全対策委員会	4月9日	各大会・競技会への医療団派遣事業 救急医療およびAED操作(自動体外式除細動器)講習会開催について
広報委員会	4月10日	ニュースレターの発行(5・9・10月)年3回 ホームページの毎月更新 広報チラシ作成 イベントの検討
アスリート委員会	4月18日	アスリート委員会主催イベントの決定 2009年9月13日(日)芋煮会
ファミリー委員会	4月20日	SON山形の活動・運営への協力について アスリート・コーチ・ボランティア募集について アスリート・コーチ・ボランティア募集について
行事委員会	4月21日	アスリート委員会イベントが予定されており、その他について地区開催内容を検討する。 2010年SON夏季ナショナルゲーム大阪へのトーチラン実施について ～開催予定地 山形・米沢・鶴岡・新庄 行事委員会を中心となり実行委員会を設置し開催する



## 2009年2月 SON 冬季世界大会・アイダホ



開会式 山形の選手、コーチ全員集合



表彰台 笑顔の山口敦央君



氷上を滑走する井上渉君



快晴のもと、疾走する千葉あみさん



突っ走る木村文昭君

スペシャルオリンピックス冬季大会「アイダホ」に参加して  
根津良伸

(09年SO冬季世界大会クロスカントリースキーヘッドコーチ)

担当したクロスカントリースキー競技は大会全体の雰囲気がすごく盛り上がり、アスリート達はその場の雰囲気により、真剣にゴールを目指し、勇気と達成感を思う存分味わえたと思います。最後まで励まされ喜びを全身に表しゴールする姿は、スペシャルオリンピックスならではの光景でした。

アスリートたちのひたむきな姿、協議では力以上のパワーを発揮し、表彰台でのパフォーマンスの姿をみて感動し、私自身「生きるパワー、勇気」をもらいました。

岡崎雪華

(09年SO冬季世界大会アルペンスキーヘッドコーチ)

日本選手団として結成されたのが前年の6月、国内合宿を経て世界大会に臨みました。ホームステイなどの交流や協議を通して、SOが目指すものを世界規模で体感した2週間でした。

世界大会は、アスリートの自立に向け勇気と自信を与え、成長させてくれるだけでなく、参加したすべての人の心に大きな変化をもたらしてくれるものと確信しました。今後は、この経験を山形のために役立てていきたいと思ひます。応援ありがとうございました。



冬季世界大会報告のため県庁を訪問(吉村知事を囲み荒井進理理事長、根津・岡崎両ヘッドコーチ、4人のアスリート)

### 大会成績

アスリート	種目	成績
井上 渉	スピードスケート	550 m 銅メダル
		777 m 銅メダル
		1000 m 第6位
木村文昭	スノーシューイング	800 m 銅メダル
		1600 m 銀メダル
		4 × 100 m 銀メダル
千葉あみ	クロスカントリー	3キロクラシカル 金メダル
		山口敦央

## SON 山形・救急医療講習会開催

2009年5月24日(日)にSN山形主催の「救急医療講習会」が午後1時～4時まで、県立保健医療大学のご協力のもと体育館をお借りして開催されました。

各プログラムより希望者をつのりファミリー・コーチ58名、アスリート18名計76名県立保健医療大学学生の受講希望者45名・総計121名の大参加となり、山形消防署はSO山形班・日本赤十字山形県支部は保健医療大学生班と2班に分けて開催されました。

最初は救急医療の講習をうけ、心肺停止蘇生法の実技とAED(自動体外式除細動器)による心肺蘇生法の実技訓練を実施しました。



山形市消防署救急医療講習

## 08年度スキー・スケートシーズンを終わって

スキープログラム プログラム代表 阿部由美子

大変盛り上がった全国大会のあとのシーズンで、目標を見失うのではと心配でしたが、アスリートたちの「スキー大好き」の気持ちがそれを吹き飛ばしてくれました。初めてリフトに乗って山から滑ってくる子、昨シーズンと見違えるようにスピードを出して山から滑ってくる子と、アスリート一人ひとり大きな成長の見えるシーズンでした。ご指導いただいたコーチの皆さんには感謝、感謝です。

また、世界大会では、山口敦夫君・千葉あみさん・木村文昭君が好成績を残してくれました。おめでとうございます。

スケートプログラム プログラム代表 松田幸子

前年度は地元で冬季全国大会が開催され、たくさんのアスリートが参加できよい体験ができました。また、井上渉さんが冬季世界大会・アイダホに派遣が決まったことにより、皆一層の上達を目指し目標を持って頑張り始めました。

また、スケート場の存続が危ぶまれる事態が発生し、存続運動の集会に参加しお願いをしました、結果存続が決まり安心したところです。

アスリートは一名増加し13名、コーチ4名、高校生ボランティア6名も昨年と同じメンバーで活動しています。コーチ・ボランティアの皆さんにも大変お世話になり本当に感謝。09年3月20日競技会と納会を行い、シーズンを終了しました

